

## 巻頭言

### 専門性と総合性を兼ね備えた土木家の出番



CNCP 常務理事 皆川 勝（東京都市大学工学部教授）

多くの NPO 法人において中核となって活動する方々には、シニアで、しかもそれぞれの地域に密着して、社会に貢献したいという強い情熱を有する人々が多いと思います。しかも様々な分野で豊富な経験をお持ちです。このような方々はその知見を活かしつつ、市民の目線をつねに重視した施策を実施に移すことができる能力を備えています。

土木学会の初代会長の古市公威は、土木学会設立時の総会で講演し、過度の専門分化により会員が専門性のみ安住して、土木の本来性が失われることを戒め、土木が土木たるゆえんである総合性の重要性を強く当時の土木学会会員に喚起しました。現代でも、技術には分野ごとにその深さを追及するものと、広がりを追及するものがあり、我が国では広がりを追及する学問分野が適正に育ってこなかったという指摘もあります。翻って、我々技術者は、これまで、自らの使命をより深遠な学術の探求におき、それが人類の福利に貢献すると考え、また、土木分野という守備範囲をきちっと守ることを当然と考えてきたように思えます。しかし、3.11 を経て土木技術者の守備範囲はもっともっと広いものであると、多くの土木技術者が再認識したと思います。その中の重要な部分として、より市民の目線に近い貢献があると思います。

さまざまな利害に関わる方々が相応の分担をしつつ、真に地域に必要なサービスに対して NPO がその柔軟性と経験知を発揮できるビジネスモデルが必要です。継続性がない事業の社会貢献は限定的にならざるを得ないからです。成功例に学び、超高齢者社会において、シニアの専門家が中核を担うビジネスモデルが生まれてくることが望まれます。CNCP は、NPO 活動における課題を互いに共有して、知恵を出し合って克服してゆくことを目指して設立されたと考えています。

土木技術者は、いうまでもなく利他の心を強くもつ人々です。そして、他の技術分野に比べて、社会や市民の安寧と福利を最優先して公共的な課題を解決することに使命感をもつ方々です。公共的な課題の中には、弱者の生活を守るために必要であっても、コストが課題となって切り捨てられる例も多くあります。土木技術者は「将の将たるもの」と言われるように、課題を解決するために多様な視点から複眼的に課題を見て解決を図る能力に秀でています。したがって、使命感とその総合的マネジメント能力は、このような課題の解決にはもってこいの人材であり、今後の一層の参入と活躍が期待されているのです。

## これからの国土管理の課題

CNCP 理事・日本河川協会理事 青山 俊樹

これからの国土管理の課題は、橋やトンネルのような社会インフラの長寿化です。高度政調時代に一齐に造ったインフラは、そのまま時間がたつと一齐に壊れることとなりますが、それには予算も技術力も追いつけません。インフラの長寿命化を図り、予算も技術力もなだらかな増加に抑えることが大切です。

今年の5月21日に国土交通省から発表された『インフラ長寿化計画（行動計画）』は、省を上げての議論から生まれた行動計画となっています。とくに体制の構築については、

- \* 適正な施工体制の確保の徹底
- \* 魅力ある環境の整備
- \* 包括的民間委託や PPP/PFI の活用

といった担い手確保に向けた環境整備を進めるとともに、管理者が NPO 等の民間団体を協力団体として指定し、維持管理に必要な工事等の実施や占用にかかる手続きの簡素化を推進する等の取り組みが例示されています。社会経済的な国力の視点での幹線道路メンテナンスの優先順位の高い施設と、一方で少し工夫して手を加えたりすれば当分安全に地域生活に貢献できるものなど、様々なレベルに依る対応があります。

このうちとくに後者は、市町村で実施可能な管理を想定すると、上記の NPO や市民団体との連携が必然であり、CNCP での議論を大いに期待するところであります。



### シビルNPOの「連携と協働」を支援する裏方として

サービス提供部門担当 常務理事 有岡正樹

- 平成19年8月土木学会「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会」の中に「建設系NPO法人調査研究ワーキンググループ」を設立、調査・研究活動開始
- 平成22年11月土木学会理事会に中間支援組織の設立を提言
- 平成24年4月建設系NPO中間支援組織設立の具体化のために、活動中NPO法人延40法人による「連絡協議会」を設立し、事業の具体化と主要業務の試行・検討を経て、発起人会を設立。
- 平成26年4月建設系NPO中間支援組織として、任意団体「シビルNPO連携プラットフォーム(CNCP)」を設立し、同年8月NPO法人認証を取得、本格的活動を開始。

冒頭にこんな年表的な書き出しをして恐縮ですが、NPO法人CNCPがこの8月に設立されるまでにちょうど7年を費やしたことになります。この歳月の長さは、シビルNPO法人そのものの、またそれらの法人活動を支援する中間組織の、活動の難しさを如実に表すものであったといえます。

そして7年もかけて、“これならその役割が果たせる”の確信が得られたわけではなく、“これ以上は走りながら考えよう”というのが本音です。連絡協議会での議論では、サービス提供内容として33の具体的項目が俎上に上りましたが、立ち上がり時の工程表では活動支援、情報交流、広報・提言および教育・行事の4分野、8項目に絞りこみました。

本CNCP通信第2号で「事業化推進部門」、第3号では「地域活動推進部門」についてそれぞれその役割が紹介されていますが、「サービス提供部門」は事務局共々、シビルNPOの中間支援組織としてのキーワードである「連携と協働」を支援する裏方として助走段階から、例えば、会員のデータベース化とその活用方法の具体化、ホームページの立ち上げ、広報誌CNCP通信の発行など、具体的な活動に積極的に関与しています。

この原稿を書いている7月27日付日経新聞朝刊34面に、「ものづくりの街、復活へ輪」と題しての記事がありました。“米サンフランシスコ市のものでづくりが復活の兆しを見せている。旗振り役は地元の製造業者が立ち上げた非営利団体。500社を超える企業が、経営のノウハウや販売網の拡大に向けて連携する”と続きます。その団体の設立は2010年で、当初会員は12社だったのがわずか4年程度で540社以上が参加する組織になったようです。会員が会員を呼んでということなのでしょうが、そのスピードには驚くばかりです。

自由競争が至上の国アメリカらしいドライな「連携・協働」の話なのでしょうが、“非営利組織が、関連する組織や企業をネットワーク化して地域や事業分野の活性化を図る”という意味でCNCPとは共通点があります。500社を超える企業を「100を超えるシビルNPO法人」に、旗振り役の非営利団体SFMadeを「CNCP」に置き換えて、奮起していこうと考えています。

様々なご意見や、会員増強のご支援をお待ちしております。arioka1010@gmail.com 有岡までご連絡ください。



## シビル NPO 連携プラットフォーム設立シンポジウム開催される

土木学会創立 100 周年事業の一環として、今年 3 月に設立されたシビル NPO 連携プラットフォーム（CNCP）が、この度、東京都から特定非営利活動法人としての認定を受けました。8 月 1 日に法務局に登記手続きをすませ、正式に NPO 法人としてのスタートを切りました。この日、土木学会の講堂において、設立記念シンポジウムが開催されました。

冒頭、CNCP の山本代表理事から「CNCP のビジョンとミッション」について話題提供がなされ、続いて、NPO 法人日本 NPO センター早瀬昇代表理事から「事業型 NPO 活動支援のための中間支援組織」、NPO 法人日本 PFI/PPP 協会植田和男理事長から「官民連携の最適解を探る」、そして NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム辻田満常務理事から「シビル NPO の現状と課題」について、それぞれプレゼンテーションが行われました。

その後、パネルディスカッションが行われ、早瀬氏からはこれからスタートする中間支援組織としてなすべき重要なことについて、植田氏からは弱体 NPO を強くするために最も重要なことについて、それぞれ説明がありました。これらの中から、とても参考となるポイントのいくつかを列挙します。

1. シニア中心の NPO 活動でも、常に**現役の活動としての意識**が重要である。
- ② NPO としてのマーケット作りは、対象とする**市場の問題点・課題**がスタート地点である。
- ③ NPO としても**売りの商品（技術）**が必要。
- ④ 活動をサポートしてくれる**サポーター**、とくにメディアが重要である。
- ⑤ 常に NPO としての**存在価値**を保つことが必要。
- ⑦ 顧客をマーケット化する**エイジェント部隊**が必要。
- ⑧ 行政の総合計画に盛り込まれた内容を把握し、さらに年度計画に盛り込まれた**予算措置が可能な事業にアプローチ**しない限り、行政はどんな良い企画でも予算措置は出来ないことを知らなくてはならない。

その後、フロアーからも多数の有意義な意見が出され、予定の 2 時間 30 分も時間を超過するほどの盛り上がりを見せました。その後、同会場で参加者らと懇談会が模様され盛会の内に設立シンポジウムが終了しました。



## ◆ 会員紹介 3

### NPO法人 法人スリム Japan

#### NPO 法人スリム Japan の「存在感」

##### ◆ NPO 法人立上げの背景

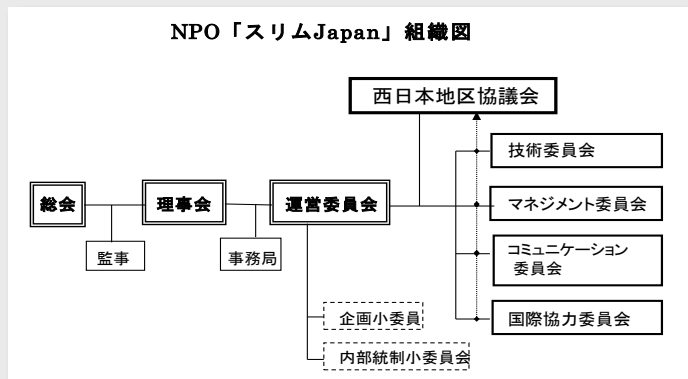
わが国における社会状況を考慮すれば、限られた財源の下では新しいものをつくることよりも、現存する社会基盤施設を見直し、最適な対応を考えることが重要な時代に入ったと考えられる。

また、自らその社会基盤の建設に関わりわが国の経済成長を支えた世代が第一線を去り、それに代わる世代が質、量ともに不足している。換言すれば、わが国は高度な判断力、ならびに豊かな経験と知識を有したシニアエンジニアの大きな集団を有することを意味するものである。

##### ◆ ビジョンとミッション

このような時代においては、Renew, Reinforce, Reform, Rehabilitate, Recycle, Reuse および Reduce 等、英語の Re ではじまる言葉で表される事象と技術への対応が重要である。社会基盤の、調査、設計、建設、維持管理・運営、補修・補強、リサイクル、廃棄というライフサイクルにおいて、それらの技術を位置づけることを、建設の「Re-エンジニアリング産業化」と称し、循環型社会における社会基盤整備のあり方に対するビジョンとするものである。

時代に対応した社会基盤のライフサイクルに関する問題の抽出および研究において、国内外の中央政府・地方自治体・企業・コミュニティ・市民等に対し、シニアエンジニアの豊富な経験と知識を活用した社会基盤ライフサイクルマネジメントに関する調査、研究開発、政策提言および技術・法務・経営サポート活動事業等を行い、社会全体の利益の増進に寄与することをミッションとした。



#### 三つの挑戦で「存在感」を発揮

##### ◆ 公共インフラや施設のライフサイクルマネジメントへの挑戦

###### (1) PFI/PPP 事業化への挑戦：

建設だけでなく、事業手法やファイナンスを含む運営に関わる事象に対するアドバイス

【事例】海外での道路・交通事業におけるステークホルダーズ・マネジメント等

###### (2) 維持管理・修繕・更新を含む長寿化への挑戦：

とくに自治体のインフラ・メンテナンスについて地域住民や自治組織とも連携しての事業化

【事例】自治体管理下の15m未満道路橋メンテについての実態調査や自治体との意見交換

##### ◆ Re-エンジニアリング事業化への挑戦

###### (1) 災害廃棄物の有効利用による復興の迅速かつ効果的な推進

【事例】東日本大震災津波がれきと堆積土砂を利用した「3.11Green Hill」構想提言・提案

###### (2) 平常時の廃棄物等を利用した減災施設の構築

【事例】：南太平洋低地国（例えばトンガ）での地球温暖化対策としてのGreen Hill 構想提案

##### ◆ シンポジウム、セミナーそして自己研鑽

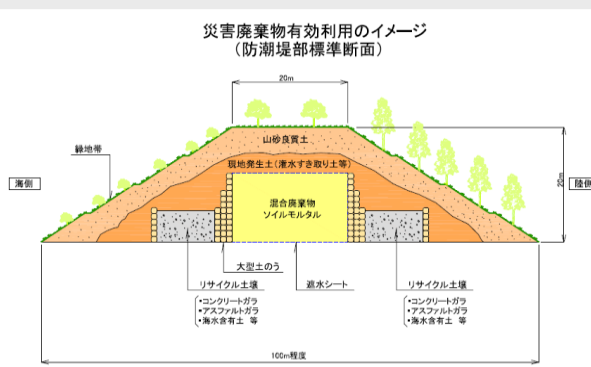
(1) ライフサイクルマネジメントやRe-エンジニアリング（とくに「3.11Green Hill」構想）に関連して、セミナー等で講演した。

(2) 会員対象には「放談会」と題してのミニ・セミナーや現場見学等を実施している。

## 「3.11Green Hill」構想に学ぶこと

2013年4月～2014年7月までの3年余、以下の検討等に多くの力を以下に注いだ。

- (1) 岩手・宮城両県における「3.11Green Hill」構想具体化の提言・提案
- (2) がれき処理：“経験風化を防げ”キャンペーン(建設通信新聞連載)
- (3) トンガなど海外での構想適用提言
- (4) 福島原発放射性汚染ガレキ等処理の検討
- (5) 南海トラフ地震での対応策検討



## 会員及び役員

種別		東日本	西日本	海外	計
正会員	個人	35	25	4	64
	法人	8	1	1	10
賛助会員	個人	1	3	0	4
	法人	2	0	0	2
計		46	29	5	80

### 【役員など】

理事長: 有岡正樹  
 副理事長: 阪田憲次  
 事務局長: 松本政雄  
 その他理事: 13名  
 監事: 1名

### NPO 法人 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 (スリム Japan)

(Society of Lifecycle Infrastructure management)

Home Page : <http://www.slim-japan.org/>

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-2-9 SPビル2F 地域未来研究所内

Mail Address : arioka1010@gmail.com FAX : 03-3252-9666 (地域未来研究所)

## 事務局通信

- ◆ シビルNPO連携プラットフォームが東京都から7月25日付けで認証されました。8月1日に東京法務局にて法人登記を済ませました。これから正式にNPO法人としての活動が始まります。会員の皆様の一層のご協力をお願いします。
- ◆ 7月29日現在の会員数  
 法人正会員 18、個人正会員 19、法人賛助会員 13 合計 50

### 事務局

お問い合わせは  
こちらまで

### 特定非営利活動法人

### シビルNPO連携プラットフォーム

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 13 番地7  
 名古屋ビル本館 2 階 コム・ブレイン内

事務局長 内藤 堅一 : [info@npo-cncp.org](mailto:info@npo-cncp.org)

ホームページ URL : <http://npo-cncp.org/>